



平成 21 年 2 月 9 日

各 位

株 式 会 社 ソ ル ク シ ー ズ
代 表 取 締 役 社 長 長 尾 章
(コード番号：4284)
執 行 役 員
問 い 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 石 田 穂 積
TEL 03-6722-5020

平成 19 年 12 月期決算短信補足資料の訂正に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 6 日に公表いたしました「運用有価証券評価損の計上ならびに過年度決算の訂正について」を受け、平成 19 年 12 月期決算短信補足資料の記載の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、平成 19 年 12 月期の訂正有価証券報告書につきましては、今後速やかに財務局に対して訂正報告を行う予定です。

1. 訂正の内容

当決算期における訂正項目及び訂正数値の概要は、次ページの太枠内に記載致しております。

注：訂正箇所を含むページを掲載いたしております。なお、訂正箇所には下線__を付しております。

【参考】

平成 21 年 2 月 6 日付「運用有価証券評価損の計上ならびに過年度決算の訂正について」に基づき修正する資料は以下の通りです。

(1)決算短信および補足資料（訂正決算短信および補足資料）

平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日） 公表日：平成 19 年 1 月 29 日

平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日） 公表日：平成 20 年 1 月 30 日

(2)中間決算短信および補足資料（訂正中間決算短信および補足資料）

平成 18 年 12 月中間期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日） 公表日：平成 18 年 7 月 27 日

平成 19 年 12 月中間期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日） 公表日：平成 19 年 7 月 26 日

平成 20 年 12 月中間期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日） 公表日：平成 20 年 7 月 29 日

平成19年12月期(28期)

決算短信 補足資料

平成21年2月9日訂正

SOLXYZ

平成20年1月30日

株式会社ソルクシーズ

2007年度の概況

1. 昨年のわが国経済は、後半に原油の高騰やサブプライムローン問題の影響などが懸念される状況になったが、期中は概ね緩やかな景気拡大を続け、企業・公共部門のIT投資は堅調に推移。中でも当社グループの戦略分野である金融分野においてIT投資は堅調だった。
2. 当社グループは競争力と事業基盤の強化を目的とする基本戦略に沿い、戦略業種（金融・通信等）向けへの要員シフトの外、成長分野への新規参入、業務知職や専門技術を有する他社との提携/協業を積極的に推進する等、以下の施策を実施した。
 - ① 丸紅(株)との間で資本業務提携契約を締結の上、第三者割当増資を実施。
 - ② 自動車教習所向けのソリューション提供で圧倒的なシェアを握る(株)ノイマンの取得
 - ③ WEBサイトの企画・開発に高い専門性を持つSIPS事業の譲受け
 - ④ 人工合成音声で高い技術を持つ(株)エーアイと資本業務提携実施
 - ⑤ ITコンサルティング業務に特化した子会社インフィニットコンサルティングを設立
3. 2007年度の業績（以下、連結）としては、売上は主事業であるSI/受託開発事業において前期比1.6%増の6,436百万円、アウトソーシング（AMO）事業において前期比20.9%増の2,148百万円と増収となりましたが、ソリューション事業については、前期比17.2%減の255百万円、情報機器販売については、前期比8.1%減の182百万円となり、全体では前期比4.7%増の9,044百万円を計上した。（注）
4. 利益面（以下、連結）では粗利率の高い証券など金融分野での大幅増収（特に直接受注が大きく増加）、メーカー系からの受注条件の改善、プロジェクト管理の徹底による不採算プロジェクトの発生防止などにより、粗利段階で前期比15.7%増の1,765百万円と大幅増益を達成。

販管費は、グループとしての陣容拡大に合わせた本社事務所スペースの借り増し、好業績を反映した年末賞与の増額、採用活動強化に伴う経費増などにより、前期比5.3%増の951百万円と増加。

営業利益は、粗利の大幅増の結果、販管費増をカバーし、前期比30.6%増の813百万円と増益となり、更に経常利益は、余裕資金の運用による金利収益も加わって、前期比36.7%増の906百万円と大幅な増益を達成。税引後当期純利益は前期比98.1%増の495百万円を計上した。

（注） 「AMO」とはApplication Management Outsourcingの略で、業務システムの保守作業のアウトソーシング業務のことを指します。

2007年度の概況

1. 昨年のわが国経済は、後半に原油の高騰やサブプライムローン問題の影響などが懸念される状況になったが、期中は概ね緩やかな景気拡大を続け、企業・公共部門のIT投資は堅調に推移。中でも当社グループの戦略分野である金融分野においてIT投資は堅調だった。
2. 当社グループは競争力と事業基盤の強化を目的とする基本戦略に沿い、戦略業種（金融・通信等）向けへの要員シフトの外、成長分野への新規参入、業務知職や専門技術を有する他社との提携/協業を積極的に推進する等、以下の施策を実施した。
 - ① 丸紅(株)との間で資本業務提携契約を締結の上、第三者割当増資を実施。
 - ② 自動車教習所向けのソリューション提供で圧倒的なシェアを握る(株)ノイマンの取得
 - ③ WEBサイトの企画・開発に高い専門性を持つSIPS事業の譲受け
 - ④ 人工合成音声で高い技術を持つ(株)エーアイと資本業務提携実施
 - ⑤ ITコンサルティング業務に特化した子会社インフィニットコンサルティングを設立
3. 2007年度の業績（以下、連結）としては、売上は主事業であるSI/受託開発事業において前期比1.6%増の6,436百万円、アウトソーシング（AMO）事業において前期比20.9%増の2,148百万円と増収となりましたが、ソリューション事業については、前期比17.2%減の255百万円、情報機器販売については、前期比8.1%減の182百万円となり、全体では前期比4.7%増の9,044百万円を計上した。（注）
4. 利益面（以下、連結）では粗利率の高い証券など金融分野での大幅増収（特に直接受注が大きく増加）、メーカー系からの受注条件の改善、プロジェクト管理の徹底による不採算プロジェクトの発生防止などにより、粗利段階で前期比15.7%増の1,765百万円と大幅増益を達成。

販管費は、グループとしての陣容拡大に合わせた本社事務所スペースの借り増し、好業績を反映した年末賞与の増額、採用活動強化に伴う経費増などにより、前期比5.3%増の951百万円と増加。

営業利益は、粗利の大幅増の結果、販管費増をカバーし、前期比30.6%増の813百万円と増益となり、更に経常利益は、余裕資金の運用による金利収益も加わって、前期比32.9%増の866百万円と大幅な増益を達成。税引後当期純利益は前期比90.7%増の455百万円を計上した。

（注） 「AMO」とはApplication Management Outsourcingの略で、業務システムの保守作業のアウトソーシング業務のことを指します。

【訂正前】

2007年度業績(単独)

(単位:百万円)

	2006年度実績		2007年度当初計画		2007年度実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画比	前期比 伸び率
売上高	7,656	100.0%	7,850	100.0%	8,166	100.0%	104.0%	6.7%
SI/ソフトウェア受託開発	5,372	70.2%	5,550	70.7%	5,588	68.4%	100.7%	4.0%
アウトソーシング事業	1,777	23.2%	1,830	23.3%	2,148	26.3%	117.4%	20.9%
ソリューションビジネス事業	308	4.0%	320	4.1%	255	3.1%	79.7%	-17.2%
情報機器販売	198	2.6%	150	1.9%	173	2.1%	115.3%	-12.6%
売上原価	6,297	82.3%	6,420	81.8%	6,592	80.7%	102.7%	4.7%
売上総利益	1,358	17.7%	1,430	18.2%	1,574	19.3%	110.1%	15.9%
販売管理費	820	10.7%	855	10.9%	859	10.5%	100.5%	4.7%
営業利益	538	7.0%	575	7.3%	715	8.8%	124.3%	33.0%
経常利益	581	7.6%	625	8.0%	805	9.9%	128.8%	38.5%
当期純利益	250	3.3%	281	3.6%	451	5.5%	160.5%	80.0%

設備投資額	132	-	-	-	72	-	-	-45.5%
(注2)								
減価償却費	52	-	-	-	30	-	-	-42.3%

【セグメント定義】

セグメント	定義
SI/ソフトウェア受託開発 (注3)	委託を受け、情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までを行うサービスの売上を指します。
アウトソーシング事業	ソフトウェア保守、レンタルサーバー、ASPサービス等の売上を指します。(注4)
ソリューションビジネス事業	ERP、自社開発パッケージ等のパッケージソフトの売上に加え、セキュリティコンサル等のコンサルテイング、パッケージ導入に関わるカスタマイズの売上を含みます。(注5)
情報機器販売	ハードウェア、周辺機器、関連ソフトの売上を指します。

(注1) 内訳は関係会社株式売却益65、投資有価証券売却損益+25、研修所用地(山梨)減損損失70、関係会社株式評価損51、本社移転費用41などです。

(注2) 設備投資額、減価償却費は有形固定資産、無形固定資産の両方に関わるものの合計です。

(注3) 「SI」はSystem Integrater又はSystem Integrationの略であり、プログラムの作成のみでなく、システム開発に必要な一連の作業、すなわちシステムの企画・立案、必要なハードウェア、ソフトウェアの選定・導入、完成したシステムの保守・管理までを総合的に行う業者又はその業務のことを指します。

(注4) 「ASP」はApplication Service Providerの略であり、業務用ソフトウェアをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のことを指します。

(注5) 「ERP」はEnterprise Resource Planningの略であり、企業全体を経営資源の有効活用の観点から総合的に管理し、経営の効率化を図るための手法を指しますが、通常はこれを実現するための統合型パッケージソフトウェアのことを言います。

【訂正後】

2007年度業績(単独)

(単位:百万円)

	2006年度実績		2007年度当初計画		2007年度実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画比	前期比 伸び率
売上高	7,656	100.0%	7,850	100.0%	8,166	100.0%	104.0%	6.7%
SI/ソフトウェア受託開発	5,372	70.2%	5,550	70.7%	5,588	68.4%	100.7%	4.0%
アウトソーシング事業	1,777	23.2%	1,830	23.3%	2,148	26.3%	117.4%	20.9%
ソリューションビジネス事業	308	4.0%	320	4.1%	255	3.1%	79.7%	-17.2%
情報機器販売	198	2.6%	150	1.9%	173	2.1%	115.3%	-12.6%
売上原価	6,297	82.3%	6,420	81.8%	6,592	80.7%	102.7%	4.7%
売上総利益	1,358	17.7%	1,430	18.2%	1,574	19.3%	110.1%	15.9%
販売管理費	820	10.7%	855	10.9%	859	10.5%	100.5%	4.7%
営業利益	538	7.0%	575	7.3%	715	8.8%	124.3%	33.0%
経常利益	582	7.6%	625	8.0%	780	9.6%	124.9%	34.1%
当期純利益	251	3.3%	281	3.6%	426	5.2%	151.9%	69.5%

設備投資額	132	-	-	-	72	-	-	-45.5%
(注2)								
減価償却費	52	-	-	-	30	-	-	-42.3%

【セグメント定義】

セグメント	定義
SI/ソフトウェア受託開発 (注3)	委託を受け、情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までを行うサービスの売上を指します。
アウトソーシング事業	ソフトウェア保守、レンタルサーバー、ASPサービス等の売上を指します。(注4)
ソリューションビジネス事業	ERP、自社開発パッケージ等のパッケージソフトの売上に加え、セキュリティコンサル等のコンサルテイング、パッケージ導入に関わるカスタマイズの売上を含みます。(注5)
情報機器販売	ハードウェア、周辺機器、関連ソフトの売上を指します。

(注1) 内訳は関係会社株式売却益65、投資有価証券売却損益+25、研修所用地(山梨)減損損失70、関係会社株式評価損51、本社移転費用41などです。

(注2) 設備投資額、減価償却費は有形固定資産、無形固定資産の両方に関わるものの合計です。

(注3) 「SI」はSystem Integrater又はSystem Integrationの略であり、プログラムの作成のみでなく、システム開発に必要な一連の作業、すなわちシステムの企画・立案、必要なハードウェア、ソフトウェアの選定・導入、完成したシステムの保守・管理までを総合的に行う業者又はその業務のことを指します。

(注4) 「ASP」はApplication Service Providerの略であり、業務用ソフトウェアをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のことを指します。

(注5) 「ERP」はEnterprise Resource Planningの略であり、企業全体を経営資源の有効活用の観点から総合的に管理し、経営の効率化を図るための手法を指しますが、通常はこれを実現するための統合型パッケージソフトウェアのことを言います。

【訂正前】

貸借対照表・資産の部(単独)

(単位:百万円)

期 別 科 目	2006年12月末		2007年12月末				(主な理由)
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	増減率	
【資産の部】							
I 流動資産	2,800	50.3%	3,542	52.0%	742	26.5%	丸紅(株)への割当増資 885百万円(125万株× @708円)により増加。
1. 現金及び預金	771		1,510		738	95.6%	
2. 受取手形	31		33		2	6.7%	
3. 売掛金	1,625		1,603		-22	-1.4%	
4. 有価証券	200		201		1	0.5%	
5. たな卸資産	83		75		-8	-9.6%	
6. その他	86		118		31	36.8%	
II 固定資産	2,767	49.7%	<u>3,274</u>	48.0%	<u>507</u>	18.3%	本社拡張(借増)により 増加。
1. 有形固定資産	652	11.7%	684	<u>10.0%</u>	32	4.9%	
(1) 建物	81		110		28	34.7%	
(2) 機械・器具・車両	50		53		3	7.2%	
(3) 土地	520		520		0	0.0%	
2. 無形固定資産	118	2.1%	88	1.3%	-29	-24.9%	
3. 投資その他の資産	<u>1,996</u>	35.9%	<u>2,501</u>	<u>36.7%</u>	<u>504</u>	<u>25.3%</u>	ノイマン株式譲受関連 433 インフィニットコンサルティング出資 30 エーアイ出資 32
(1) 投資有価証券	1,165		1,150		-15	-1.3%	
(2) 関係会社株式	279		766		486	174.3%	
(3) 長期貸付金	27		3		-24	-88.9%	
(4) 長期繰延 税金資産	265		<u>282</u>		<u>17</u>	<u>6.5%</u>	
(5) その他	259		299		39	15.4%	
(6) 貸倒引当金	-		-		-		本社借り増しに伴う差 入保証金の増加
III 繰延資産	-		-		-1	n.a.	
資産合計	<u>5,567</u>	100%	<u>6,817</u>	100.0%	<u>1,250</u>	<u>22.5%</u>	

【訂正後】

貸借対照表・資産の部(単独)

(単位:百万円)

科 目	2006年12月末		2007年12月末			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	増減率
【資産の部】						
I 流動資産	2,800	50.3%	3,542	52.0%	742	26.5%
1. 現金及び預金	771		1,510		738	95.6%
2. 受取手形	31		33		2	6.7%
3. 売掛金	1,625		1,603		-22	-1.4%
4. 有価証券	200		201		1	0.5%
5. たな卸資産	83		75		-8	-9.6%
6. その他	86		118		31	36.8%
II 固定資産	2,767	49.7%	3,265	48.0%	497	18.0%
1. 有形固定資産	652	11.7%	684	10.1%	32	4.9%
(1) 建物	81		110		28	34.7%
(2) 機械・器具・車両	50		53		3	7.2%
(3) 土地	520		520		0	0.0%
2. 無形固定資産	118	2.1%	88	1.3%	-29	-24.9%
3. 投資その他の資産	1,997	35.9%	2,492	36.6%	494	24.8%
(1) 投資有価証券	1,165		1,150		-15	-1.3%
(2) 関係会社株式	279		766		486	174.3%
(3) 長期貸付金	27		3		-24	-88.9%
(4) 長期繰延税金資産	265		273		7	2.8%
(5) その他	259		299		39	15.4%
(6) 貸倒引当金	-		-		-	-
III 繰延資産	-		-		-	-
資産合計	5,568	100%	6,808	100.0%	1,240	22.3%

(主な理由)

丸紅(株)への割当増資
885百万円(125万株×
@708円)により増加。

本社拡張(借増)により
増加。

ハイマン株式譲受関連
433
インフィニットコンサルティング出資
30
エーアイ出資 32

本社借り増しに伴う差
入保証金の増加

【訂正前】

貸借対照表・純資産/負債の部(単独)

(単位:百万円)

期 別 科 目	2006年12月末		2007年12月末				(主な理由)
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	増減率	
【負債の部】							
I 流動負債	1,680	30.1%	1,722	25.3%	41	2.5%	
1. 買掛金	593		599		5	1.0%	
2. 短期借入金	327		297		-30	-9.2%	
3. 一年以内返済予定 長期借入金・社債	185		194		8	4.8%	
4. その他	573		631		57	10.0%	未払法人税、未払消費税 など
II 固定負債	1,011	18.2%	1,049	15.4%	38	3.8%	
1. 長期借入金・社債	323		333		9	3.1%	
2. 退職給付引当金	602		619		17	2.9%	
3. 役員退職慰労引当金	83		94		10	12.7%	
4. その他	1		1		0	0.0%	
負債合計	2,691	48.3%	2,771	40.7%	80	3.0%	
【純資産の部】							
I 株主資本	<u>2,857</u>	51.3%	<u>4,036</u>	<u>59.2%</u>	<u>1,178</u>	<u>41.2%</u>	
1. 資本金	1,052	18.9%	1,494	<u>21.9%</u>	442	42.1%	丸紅株への割当増資 885百万円(125万株× @708円)により増加。
2. 資本剰余金	1,008	18.1%	1,451	21.3%	442	43.9%	
3. 利益剰余金	<u>1,097</u>	19.7%	<u>1,457</u>	<u>21.4%</u>	<u>359</u>	<u>32.8%</u>	
①利益準備金	38	0.7%	38	0.6%	0	0.0%	
②別途積立金	550	9.9%	550	8.1%	0	0.0%	
③繰越利益剰余金	<u>509</u>	<u>9.1%</u>	<u>869</u>	<u>12.7%</u>	<u>359</u>	<u>70.7%</u>	
4. 自己株式	-300	-5.4%	-366	-5.4%	-66	n.a.	自己株式取得 +127.4千株
II 評価・換算差額等 (その他有価証券評価 差額金)	<u>18</u>	<u>0.3%</u>	<u>9</u>	<u>0.1%</u>	<u>-8</u>	<u>-48.0%</u>	
純資産合計	<u>2,875</u>	51.7%	<u>4,046</u>	59.3%	<u>1,170</u>	<u>40.7%</u>	
負債・純資産合計	<u>5,567</u>	100%	<u>6,817</u>	100.0%	<u>1,250</u>	<u>22.5%</u>	

自己資本比率	51.7%	59.3%
1株当たり純資産	<u>312 円 56銭</u>	<u>391 円 91銭</u>
期末発行済株式数(注)	9,201千株	10,323千株

(注) 2007年12月末の発行済株式数は2008年1月の株式分割(1:1.2)前の数値です。尚、自己株式は含みません。

【訂正後】

貸借対照表・純資産/負債の部(単独)

(単位:百万円)

期 別 科 目	2006年12月末		2007年12月末				(主な理由)
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	増減率	
【負債の部】							
I 流動負債	1,680	30.1%	1,722	25.3%	41	2.5%	
1. 買掛金	593		599		5	1.0%	
2. 短期借入金	327		297		-30	-9.2%	
3. 一年以内返済予定 長期借入金・社債	185		194		8	4.8%	
4. その他	573		631		57	10.0%	未払法人税、未払消費税 など
II 固定負債	1,011	18.2%	1,049	15.4%	38	3.8%	
1. 長期借入金・社債	323		333		9	3.1%	
2. 退職給付引当金	602		619		17	2.9%	
3. 役員退職慰労引当金	83		94		10	12.7%	
4. その他	1		1		0	0.0%	
負債合計	2,691	48.3%	2,771	40.7%	80	3.0%	
【純資産の部】							
I 株主資本	<u>2,858</u>	51.3%	<u>4,013</u>	<u>59.0%</u>	<u>1,154</u>	<u>40.4%</u>	
1. 資本金	1,052	18.9%	1,494	<u>22.0%</u>	442	42.1%	丸紅株への割当増資 885百万円(125万株× @708円)により増加。
2. 資本剰余金	1,008	18.1%	1,451	21.3%	442	43.9%	
3. 利益剰余金	<u>1,098</u>	19.7%	<u>1,433</u>	<u>21.1%</u>	<u>335</u>	<u>30.5%</u>	
①利益準備金	38	0.7%	38	0.6%	0	0.0%	
②別途積立金	550	9.9%	550	8.1%	0	0.0%	
③繰越利益剰余金	<u>510</u>	<u>9.2%</u>	<u>845</u>	<u>12.4%</u>	<u>335</u>	<u>65.8%</u>	自己株式取得 +127.4千株
4. 自己株式	-300	-5.4%	-366	-5.4%	-66	n.a.	
II 評価・換算差額等 (その他有価証券評価 差額金)	<u>17</u>	<u>0.4%</u>	<u>23</u>	<u>0.3%</u>	<u>5</u>	<u>33.4%</u>	
純資産合計	<u>2,876</u>	51.7%	<u>4,036</u>	59.3%	<u>1,160</u>	<u>40.3%</u>	
負債・純資産合計	<u>5,568</u>	100%	<u>6,808</u>	100.0%	<u>1,240</u>	<u>22.3%</u>	

自己資本比率	51.7%	59.3%
1株当たり純資産	312 円 61銭	390 円 98銭
期末発行済株式数(注)	9,201千株	10,323千株

(注) 2007年12月末の発行済株式数は2008年1月の株式分割(1:1.2)前の数値です。尚、自己株式は含みません。

【訂正前】

連結業績

(単位:百万円)

	2006年度実績		2007年度当初計画		2007年度実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画達成率	前期比伸び率
売上高 (注1)	8,635	100.0%	8,850	100.0%	9,044	100.0%	102.2%	4.7%
SI/ソフトウェア受託開発	6,332	73.3%	6,550	74.0%	6,436	71.2%	98.3%	1.6%
アウトソーシング事業	1,777	20.6%	1,830	20.7%	2,148	23.8%	117.4%	20.9%
ソリューションビジネス事業	308	3.6%	320	3.6%	255	2.8%	79.7%	-17.2%
情報機器販売	198	2.3%	150	1.7%	182	2.0%	121.3%	-8.1%
その他	17	0.2%	—	—	23	0.3%		35.3%
売上原価	7,108	82.3%	7,200	81.4%	7,279	80.5%	101.1%	2.4%
売上総利益	1,526	17.7%	1,650	18.6%	1,765	19.5%	107.0%	15.7%
販売管理費	903	10.5%	965	10.9%	951	10.5%	98.5%	5.3%
営業利益	623	7.2%	685	7.7%	813	9.0%	118.7%	30.6%
経常利益	663	7.7%	735	8.3%	906	10.0%	123.3%	36.7%
当期純利益	249	2.9%	336	3.8%	495	5.5%	147.3%	98.1%
設備投資額	145	—	—	—	95	—	—	-34.5%
減価償却費 (注2)	58	—	—	—	74	—	—	27.6%

【連結対象】 (注3)

(売上、経常利益の単位は百万円、括弧内は前期比増減)

会社名	事業内容	①設立、②資本金、③持株比率	売上	経常利益
エフ・エフ・ソル(FFSOL)	銀行系業務システム受託開発	①2003年3月、②128百万円、③93.2%	(2007年11月期) 800 (+100)	99 (+15)
イー・アイ・ソル(EISOL)	組込・制御・計測関連ソフトウェア開発	①2005年12月、②10百万円(2008年1月以降、30百万円)、③100.0%	(2007年11月期) 343 (+206)	26 (+23)
(株)teco (注4) (旧社名シー・エル・ソル)	SIPS事業(Webサイトの企画・開発・保守)	①2006年12月、②30百万円、③100.0%	(2007年11月期) 35 (n.a.)	-17 (n.a.)
インフィニット コンサルティング(IFC)	コンサルティング	①2007年5月、②30百万円、③100.0%	(2007年11月期) 23 (n.a.)	2 (n.a.)

(注1) 決算短信(連結)上の販売実績の区分は「受託ソフトウェア開発、情報機器販売、その他」となっておりますが、ここでは個別プロジェクトの内容に照らし、より詳細に区分しております。なお、情報機器販売に関し、決算短信では一部のパッケージソフトの売上を情報機器販売に区分しているのに対し、ここではパッケージソフトの全ての売上をソリューションビジネス事業に区分しているために両者には差異があります。IFCのコンサルティング売上はその他に区分しています。

(注2) 設備投資額、減価償却費は有形固定資産、無形固定資産の両方に関わるものの合計です。

(注3) 売上、経常利益は当社との取引による調整を行う前の被連結会社単独の数値です。

(注4) (株)tecoは2007年11月に取得したSIPS事業の受け皿会社であり、2008年1月に社名を旧シー・エル・ソルから変更しました。2007年11月期の業績は、旧シー・エル・ソルとしてのクレジット業界向けのSI業務によるものです。なお、同じく2007年11月に取得した(株)ノイマンは今連結期間では連結対象外です。

【訂正後】

連結業績

(単位:百万円)

	2006年度実績		2007年度当初計画		2007年度実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画達成率	前期比伸び率
売上高 (注1)	8,635	100.0%	8,850	100.0%	9,044	100.0%	102.2%	4.7%
SI/ソフトウェア受託開発	6,332	73.3%	6,550	74.0%	6,436	71.2%	98.3%	1.6%
アウトソーシング事業	1,777	20.6%	1,830	20.7%	2,148	23.8%	117.4%	20.9%
ソリューションビジネス事業	308	3.6%	320	3.6%	255	2.8%	79.7%	-17.2%
情報機器販売	198	2.3%	150	1.7%	182	2.0%	121.3%	-8.1%
その他	17	0.2%	—	—	23	0.3%		35.3%
売上原価	7,108	82.3%	7,200	81.4%	7,279	80.5%	101.1%	2.4%
売上総利益	1,526	17.7%	1,650	18.6%	1,765	19.5%	107.0%	15.7%
販売管理費	903	10.5%	965	10.9%	951	10.5%	98.5%	5.3%
営業利益	623	7.2%	685	7.7%	813	9.0%	118.7%	30.6%
経常利益	651	7.5%	735	8.3%	866	9.6%	117.8%	32.9%
当期純利益	238	2.8%	336	3.8%	455	5.0%	135.4%	90.7%
設備投資額	145	—	—	—	95	—	—	-34.5%
減価償却費 (注2)	58	—	—	—	74	—	—	27.6%

【連結対象】 (注3)

(売上、経常利益の単位は百万円、括弧内は前期比増減)

会社名	事業内容	①設立、②資本金、③持株比率	売上	経常利益
エフ・エフ・ソル(FFSOL)	銀行系業務システム受託開発	①2003年3月、②128百万円、③93.2%	(2007年11月期) 800 (+100)	34 (-34)
イー・アイ・ソル(EISOL)	組込・制御・計測関連ソフトウェア開発	①2005年12月、②10百万円(2008年1月以降、30百万円)、③100.0%	(2007年11月期) 343 (+206)	26 (+23)
(株)teco (注4) (旧社名シー・エル・ソル)	SIPS事業(Webサイトの企画・開発・保守)	①2006年12月、②30百万円、③100.0%	(2007年11月期) 35 (n.a.)	-17 (n.a.)
インフィニット コンサルティング(IFC)	コンサルティング	①2007年5月、②30百万円、③100.0%	(2007年11月期) 23 (n.a.)	2 (n.a.)

(注1) 決算短信(連結)上の販売実績の区分は「受託ソフトウェア開発、情報機器販売、その他」となっておりますが、ここでは個別プロジェクトの内容に照らし、より詳細に区分しております。なお、情報機器販売に関し、決算短信では一部のパッケージソフトの売上を情報機器販売に区分しているのに対し、ここではパッケージソフトの全ての売上をソリューションビジネス事業に区分しているために両者には差異があります。IFCのコンサルティング売上はその他に区分しています。

(注2) 設備投資額、減価償却費は有形固定資産、無形固定資産の両方に関わるものの合計です。

(注3) 売上、経常利益は当社との取引による調整を行う前の被連結会社単独の数値です。

(注4) (株)tecoは2007年11月に取得したSIPS事業の受け皿会社であり、2008年1月に社名を旧シー・エル・ソルから変更しました。2007年11月期の業績は、旧シー・エル・ソルとしてのクレジット業界向けのSI業務によるものです。

なお、同じく2007年11月に取得した(株)ノイマンは今連結期間では連結対象外です。

【訂正前】

業績予想(単独)

【中間期】

(金額:百万円)

	2006年度中間期実績		2007年度中間期実績		2008年度中間期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比伸び率
売上高	3,457	100.0%	3,870	100.0%	3,960	100.0%	2.3%
SI/ソフトウェア受託開発	2,369	68.5%	2,624	67.8%	2,695	68.1%	2.7%
アウトソーシング事業	889	25.7%	1,032	26.7%	1,040	26.3%	0.8%
ソリューションビジネス事業	141	4.1%	127	3.3%	150	3.8%	18.1%
情報機器販売	56	1.6%	85	2.2%	75	1.9%	-11.8%
売上原価	2,810	81.3%	3,056	79.0%	3,150	79.5%	3.1%
売上総利益	646	18.7%	813	21.0%	810	20.5%	-0.5%
販売管理費	400	11.6%	406	10.5%	490	12.4%	20.4%
営業利益	246	7.1%	407	10.5%	320	8.1%	-21.4%
経常利益	247	7.2%	459	11.9%	380	9.6%	-17.3%
当期純利益	95	2.8%	272	7.0%	214	5.4%	-21.4%

【通期】

(金額:百万円)

	2006年度実績		2007年度実績		2008年度計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比伸び率
売上高	7,656	100.0%	8,166	100.0%	8,130	100.0%	-0.4%
SI/ソフトウェア受託開発	5,372	70.2%	5,588	68.4%	5,510	67.8%	-1.4%
アウトソーシング事業	1,777	23.2%	2,148	26.3%	2,160	26.6%	0.6%
ソリューションビジネス事業	308	4.0%	255	3.1%	310	3.8%	21.6%
情報機器販売	198	2.6%	173	2.1%	150	1.8%	-13.3%
売上原価	6,297	82.2%	6,592	80.7%	6,450	79.3%	-2.2%
売上総利益	1,358	17.7%	1,574	19.3%	1,680	20.7%	6.7%
販売管理費	820	10.7%	859	10.5%	980	12.1%	14.1%
営業利益	538	7.0%	715	8.8%	700	8.6%	-2.1%
経常利益	581	7.6%	805	9.9%	805	9.9%	0.0%
当期純利益	250	3.3%	451	5.5%	454	5.6%	0.6%

【訂正後】

業績予想(単独)

【中間期】

(金額:百万円)

	2006年度中間期実績		2007年度中間期実績		2008年度中間期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比伸び率
売上高	3,457	100.0%	3,870	100.0%	3,960	100.0%	2.3%
SI/ソフトウェア受託開発	2,369	68.5%	2,624	67.8%	2,695	68.1%	2.7%
アウトソーシング事業	889	25.7%	1,032	26.7%	1,040	26.3%	0.8%
ソリューションビジネス事業	141	4.1%	127	3.3%	150	3.8%	18.1%
情報機器販売	56	1.6%	85	2.2%	75	1.9%	-11.8%
売上原価	2,810	81.3%	3,056	79.0%	3,150	79.5%	3.1%
売上総利益	646	18.7%	813	21.0%	810	20.5%	-0.5%
販売管理費	400	11.6%	406	10.5%	490	12.4%	20.4%
営業利益	246	7.1%	407	10.5%	320	8.1%	-21.4%
経常利益	<u>232</u>	<u>6.7%</u>	<u>461</u>	<u>11.9%</u>	380	9.6%	<u>-17.6%</u>
当期純利益	<u>79</u>	<u>2.3%</u>	<u>274</u>	<u>7.1%</u>	214	5.4%	<u>-21.9%</u>

【通期】

(金額:百万円)

	2006年度実績		2007年度実績		2008年度計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比伸び率
売上高	7,656	100.0%	8,166	100.0%	8,130	100.0%	-0.4%
SI/ソフトウェア受託開発	5,372	70.2%	5,588	68.4%	5,510	67.8%	-1.4%
アウトソーシング事業	1,777	23.2%	2,148	26.3%	2,160	26.6%	0.6%
ソリューションビジネス事業	308	4.0%	255	3.1%	310	3.8%	21.6%
情報機器販売	198	2.6%	173	2.1%	150	1.8%	-13.3%
売上原価	6,297	82.2%	6,592	80.7%	6,450	79.3%	-2.2%
売上総利益	1,358	17.7%	1,574	19.3%	1,680	20.7%	6.7%
販売管理費	820	10.7%	859	10.5%	980	12.1%	14.1%
営業利益	538	7.0%	715	8.8%	700	8.6%	-2.1%
経常利益	<u>582</u>	<u>7.6%</u>	<u>780</u>	<u>9.6%</u>	805	9.9%	<u>3.2%</u>
当期純利益	<u>251</u>	<u>3.3%</u>	<u>426</u>	<u>5.2%</u>	454	5.6%	<u>6.6%</u>

【訂正前】

業績予想(連結)

【中間期】

(金額:百万円)

	2006年度中間期実績		2007年度中間期実績		2008年度中間期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比伸び率
売上高	4,041	100.0%	4,328	100.0%	4,960	100.0%	14.6%
SI/ソフトウェア受託開発	2,942	72.8%	3,082	71.2%	3,126	63.0%	1.4%
アウトソーシング事業	889	22.0%	1,032	23.8%	1,040	21.0%	0.8%
ソリューションビジネス事業	141	3.5%	127	2.9%	(注) 679	13.7%	434.6%
情報機器販売	56	1.4%	85	2.0%	75	1.5%	-11.8%
その他	13	0.3%	2	0.0%	(注) 40	0.8%	1900.0%
売上原価	3,304	81.8%	3,413	78.9%	3,810	76.8%	11.6%
売上総利益	736	18.2%	915	21.1%	1,150	23.2%	25.7%
販売管理費	448	11.1%	440	10.2%	805	16.2%	82.6%
営業利益	288	7.1%	474	11.0%	345	7.0%	-27.2%
経常利益	<u>287</u>	<u>7.1%</u>	<u>523</u>	<u>12.1%</u>	365	7.4%	<u>-30.2%</u>
当期純利益	<u>70</u>	<u>1.8%</u>	<u>290</u>	<u>6.7%</u>	192	3.9%	<u>-33.8%</u>

【通期】

(金額:百万円)

	2006年度実績		2007年度実績		2008年度計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比伸び率
売上高	8,635	100.0%	9,044	100.0%	10,500	100.0%	16.1%
SI/ソフトウェア受託開発	6,332	73.3%	6,436	71.2%	6,587	62.7%	2.3%
アウトソーシング事業	1,777	20.6%	2,148	23.8%	2,160	20.6%	0.6%
ソリューションビジネス事業	308	3.6%	255	2.8%	(注) 1,523	14.5%	497.3%
情報機器販売	198	2.3%	182	2.0%	150	1.4%	-17.6%
その他	17	0.2%	23	0.3%	(注) 80	0.8%	247.8%
売上原価	7,108	82.3%	7,279	80.5%	8,010	76.3%	10.0%
売上総利益	1,526	17.7%	1,765	19.5%	2,490	23.7%	41.0%
販売管理費	903	10.5%	951	10.5%	1,615	15.4%	69.7%
営業利益	623	7.2%	813	9.0%	875	8.3%	7.6%
経常利益	<u>663</u>	<u>7.7%</u>	<u>906</u>	<u>10.0%</u>	910	8.7%	<u>0.4%</u>
当期純利益	<u>249</u>	<u>2.9%</u>	<u>495</u>	<u>5.5%</u>	519	4.9%	<u>4.8%</u>

(注) 2008年度から連結対象となったノイマン、tecoの売上は「ソリューション事業」に区分しています。
インフィニットコンサルティングの売上は「その他」に区分しています。

【訂正後】

業績予想(連結)

【中間期】

(金額:百万円)

	2006年度中間期実績		2007年度中間期実績		2008年度中間期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比伸び率
売上高	4,041	100.0%	4,328	100.0%	4,960	100.0%	14.6%
SI/ソフトウェア受託開発	2,942	72.8%	3,082	71.2%	3,126	63.0%	1.4%
アウトソーシング事業	889	22.0%	1,032	23.8%	1,040	21.0%	0.8%
ソリューションビジネス事業	141	3.5%	127	2.9%	(注) 679	13.7%	434.6%
情報機器販売	56	1.4%	85	2.0%	75	1.5%	-11.8%
その他	13	0.3%	2	0.0%	(注) 40	0.8%	1900.0%
売上原価	3,304	81.8%	3,413	78.9%	3,810	76.8%	11.6%
売上総利益	736	18.2%	915	21.1%	1,150	23.2%	25.7%
販売管理費	448	11.1%	440	10.2%	805	16.2%	82.6%
営業利益	288	7.1%	474	11.0%	345	7.0%	-27.3%
経常利益	272	6.7%	542	12.5%	365	7.4%	-32.7%
当期純利益	54	1.3%	308	7.1%	192	3.9%	-37.7%

【通期】

(金額:百万円)

	2006年度実績		2007年度実績		2008年度計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比伸び率
売上高	8,635	100.0%	9,044	100.0%	10,500	100.0%	16.1%
SI/ソフトウェア受託開発	6,332	73.3%	6,436	71.2%	6,587	62.7%	2.3%
アウトソーシング事業	1,777	20.6%	2,148	23.8%	2,160	20.6%	0.6%
ソリューションビジネス事業	308	3.6%	255	2.8%	(注) 1,523	14.5%	497.3%
情報機器販売	198	2.3%	182	2.0%	150	1.4%	-17.6%
その他	17	0.2%	23	0.3%	(注) 80	0.8%	247.8%
売上原価	7,108	82.3%	7,279	80.5%	8,010	76.3%	10.0%
売上総利益	1,526	17.7%	1,765	19.5%	2,490	23.7%	41.0%
販売管理費	903	10.5%	951	10.5%	1,615	15.4%	69.7%
営業利益	623	7.2%	813	9.0%	875	8.3%	7.6%
経常利益	651	7.5%	866	9.6%	910	8.7%	5.1%
当期純利益	238	2.8%	455	5.0%	519	4.9%	14.1%

(注) 2008年度から連結対象となったノイマン、tecoの売上は「ソリューション事業」に区分しています。
インフィニットコンサルティングの売上は「その他」に区分しています。

中期計画 (最終年度2009年)

【基本方針】

1. 経営戦略は基本的にはこれまでの戦略を継続する。即ち、
 - ① 受託開発業務:金融、通信、組込系への特化戦略(M&Aの実施、経営資源のシフト等)を継続する。
 - ② スtock型ビジネス:引き続きM&Aによる強化を推進するとともに、グループ子会社の早期経営安定化と営業強化を図る。
 連結利益構成としてH22年度において受託開発部門70%:ストック型ビジネス部門30%を目標とする。
 (最終構成目標は50%:50%)
 - ③ 高収益業務の拡充:コンサル会社の強化、直接顧客の開拓等を推進する。
 - ④ 上記①、②の両部門の開発コスト圧縮のため、オフショア開発の利用を継続推進する。

2. グループとしての一体感を醸成し、シナジーの追及とグループ管理を徹底する。
 - ① グループ各社の自主性尊重の一方で、グループとしての一体感醸成を図る。
 - ② グループ内各社間の営業・事業展開上の連携を推進し、シナジーを追及する。
 - ③ 売上、収益、コスト(アロケーション前提)等の目標設定と管理の徹底を図る。

3. その他
 - ① 丸紅との営業・事業展開上の連携を深め、特に、金融関連の共同事業、当社ストックビジネスへの営業支援などを企画・推進する。
 - ② SBIグループの金融関連等のシステム開発ニーズを積極的に捕捉する。
 - ③ 開発力の増強のため、採用促進と技術等の研修を強化する。また、中高年齢者の有効活用を本格的に推進する。
 - ④ 内部統制システムの更なる整備・強化を図り、コンプライアンスを徹底する。

【連結中期計画の売上高・利益目標】

(単位:百万円)

	2007年度(実績)	2008年度(計画)	2009年度(計画)	2010年度(計画)
売上高	9,044	10,500	11,400	12,200
(経常利益率)	<u>10.0%</u>	8.7%	9.3%	10.2%
経常利益	<u>906</u>	910	1,060	1,240
当期純利益	<u>495</u>	519	570	660

【訂正後】

中期計画 (最終年度2009年)

【基本方針】

1. 経営戦略は基本的にはこれまでの戦略を継続する。即ち、
 - ① 受託開発業務:金融、通信、組込系への特化戦略(M&Aの実施、経営資源のシフト等)を継続する。
 - ② スtock型ビジネス:引き続きM&Aによる強化を推進するとともに、グループ子会社の早期経営安定化と営業強化を図る。
連結利益構成としてH22年度において受託開発部門70%:ストック型ビジネス部門30%を目標とする。
(最終構成目標は50%:50%)
 - ③ 高収益業務の拡充:コンサル会社の強化、直接顧客の開拓等を推進する。
 - ④ 上記①、②の両部門の開発コスト圧縮のため、オフショア開発の利用を継続推進する。

2. グループとしての一体感を醸成し、シナジーの追及とグループ管理を徹底する。
 - ① グループ各社の自主性尊重の一方で、グループとしての一体感醸成を図る。
 - ② グループ内各社間の営業・事業展開上の連携を推進し、シナジーを追及する。
 - ③ 売上、収益、コスト(アロケーション前提)等の目標設定と管理の徹底を図る。

3. その他
 - ① 丸紅との営業・事業展開上の連携を深め、特に、金融関連の共同事業、当社ストックビジネスへの営業支援などを企画・推進する。
 - ② SBIグループの金融関連等のシステム開発ニーズを積極的に捕捉する。
 - ③ 開発力の増強のため、採用促進と技術等の研修を強化する。また、中高年齢者の有効活用を本格的に推進する。
 - ④ 内部統制システムの更なる整備・強化を図り、コンプライアンスを徹底する。

【連結中期計画の売上高・利益目標】

(単位:百万円)

	2007年度(実績)	2008年度(計画)	2009年度(計画)	2010年度(計画)
売上高	9,044	10,500	11,400	12,200
(経常利益率)	<u>9.6%</u>	8.7%	9.3%	10.2%
経常利益	<u>866</u>	910	1,060	1,240
当期純利益	<u>455</u>	519	570	660